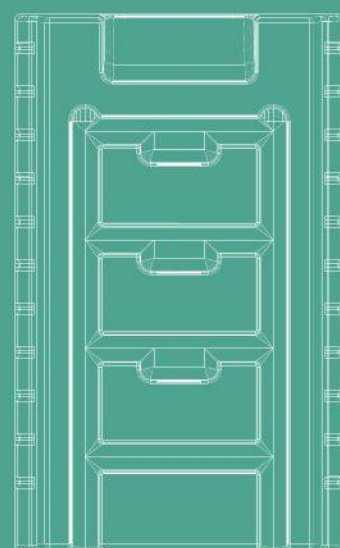
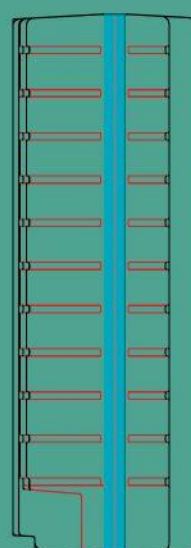
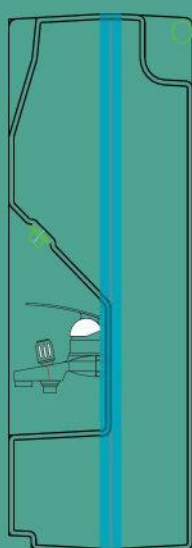
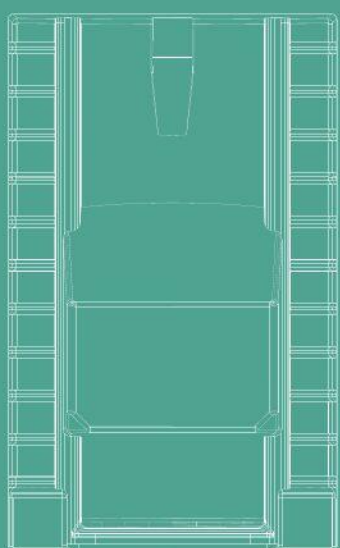


装置仕様

取扱説明書

温水シャワー



1. 温水シャワーの取扱いおよび基本事項

1 はじめに

本装置は専門家・非専門家のいずれも使用できますが、専門的な保守を必要とする整備は、必ず熟練した専門者が行ってください。

本取扱説明書には、本装置の作業者および保守担当者のために、次の事項を記載しています。

- 第1章：装置の運転開始前に必要な安全事項
- 第2章：装置の取扱いおよび設置時の点検事項
- 第3章：装置の操作方法および運転方法
- 第4章：消耗品および整備に関する事項

2 安全上の注意

本装置には、予期せぬ事故から人と装置を保護するための安全装置が備えられています。ただし、安全装置だけに頼らず、以下の注意事項をよく読み、理解してから操作してください。

3 基本的な注意事項

- ・ ガスが漏れる可能性のある場所には設置しないでください。爆発や火災のおそれがあります。
- ・ 工業用の油煙や金属粉じんが多い場所には設置しないでください。
- ・ 電源コードを引っ張ったり、濡れた手でスイッチやプラグに触れたりしないでください。感電のおそれがあります。
- ・ たこ足配線は使用しないでください。
- ・ 殺虫剤や可燃性スプレーを装置へ噴霧しないでください。人体への影響、故障、感電、火災の原因になります。
- ・ 装置を分解・修理・改造しないでください。修理が必要な場合は、製造元または専門技術者へ依頼してください。
- ・ 周囲との間隔を40cm以上確保して設置してください。
- ・ 使用中は、少なくとも年1回の専門点検を受けてください。
- ・ 緊急時にもすぐ操作できるよう、スイッチの位置を把握してください。
- ・ 安全表示や注意表示が汚れたり、破損・脱落したりしないよう管理してください。
- ・ 傾斜地や手すり付近など、危険要因のある場所では使用しないでください。
- ・ 設置場所には、一般の人が立ち入らないよう柵などを設けてください。
- ・ 装置に過度な衝撃を与えないでください。



4 電源投入前の注意事項

- ・ ケーブルが床に触れる場所では、異物による損傷や漏電を防ぐため保護してください。
- ・ 電源コードを無理に曲げたり、重い物で押しつぶしたりしないでください。感電や火災のおそれがあります。
- ・ 被覆が傷んだケーブルや電線は使用しないでください。漏電・感電の原因になります。
- ・ 主電源ケーブルは付属品を使用し、接続端子へ確実に接続されていることを確認してください。
- ・ 電源ケーブルを接続した後、使用する機能のスイッチをONにしてください。
- ・ 電源プラグ、コンセント、端子などが確実に接地されていることを確認してください。



5 運転開始前の注意事項

- ・ 建設・建築・解体・除去・内装工事など、頻繁な移動や強い衝撃が想定される現場では、使用前に電気系統の安全を確認してください。



5. 使用開始前の注意事項（続き）

- 冬季は、装置内部の凍結防止用ヒーターの誤作動により火災のおそれがあります。十分な安全対策を講じてから使用してください。
- 使用前に操作部の非常停止スイッチを解除し、電源スイッチを入れたときに表示ランプが点灯することを確認してください。
- 給水・温水機能を使用する場合は、接続部から水漏れがないこと、給湯が正常に行われることを確認してください。
- ポンプ、ヒーター、その他の部分から異常な音がしないことを確認してください。
- 損傷した電源コードやプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。
- 装置の上に工具や物を置かないでください。吸入口や排出口へ落下すると故障の原因になります。



6. 運転時の注意事項

- 操作部や装置内部を点検する場合は、必ず運転を停止して電源を遮断してください。運転中は身体の一部を装置内部へ入れないでください。
- 運転を妨げる異常が発生した場合は、電源を遮断して装置を停止し、原因を取り除いてから再使用してください。
- 装置の上に乗ったり、運転中にむやみに移動させたりしないでください。
- 電源プラグを抜いて装置を停止しないでください。故障や感電の原因になります。
- 異常音、焦げた臭い、煙などが発生した場合は、直ちに電源を遮断して点検してください。
- 停電時は主電源を切ってください。
- 装置内部に水がたまらないよう注意してください。
- 給水ホース、排水ホース、電源ケーブルが確実に接続されている状態で運転してください。
- 運転中は固定具を解除したり、カバーを開けたりしないでください。
- 雪や雨などの悪天候時に屋外で使用しないでください。
- 安全が確保されていない移動設備や足場の上では運転しないでください。
- 子ども、歩行者、一般の方が多く利用する場所では運転しないでください。



7. 終了時および保守時の注意事項

- 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
- 作業終了後は、給水を止め、装置内部やホース内に残った水を十分に排出してから電源を切ってください。
- 残水を排出した後、操作部の主電源を切り、最後に電源プラグを抜いてください。
- 安全に使用するため、装置の内外を定期的に清掃してください。
- 作業前に現場監督者から十分な安全指示を受けてください。
- 保守作業は原則として主電源を遮断してから行ってください。
- 電気装置の保守は、安全整備手順を理解した担当者または専門技術者が行ってください。

警告

保守・修理は、訓練を受けた担当者または専門業者が行ってください。

警告

使用前に取扱説明書を読み、安全事項と操作方法を理解してください。

2. 温水シャワー装置の設置に関する基本事項

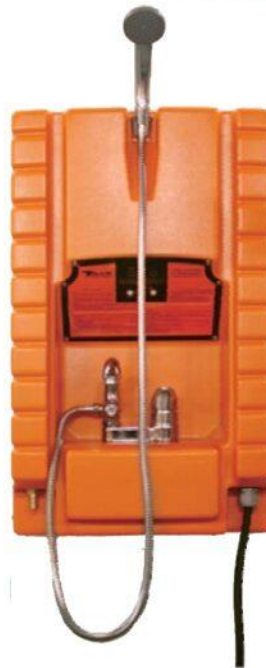
1. 製品構成および各部の名称・機能

ア) 温水シャワー装置は、次の部品で構成されています。

- ✓ 本体
- ✓ 移動用ショルダーベルト

シャワーヘッド・ホース

耐久性のある強化プラスチック製のホースを採用



給水口

水圧のある水道へ直接接続し、シャワー内部へ給水するバルブ装置（ホースバンド）

電源ケーブル

最大5kWまでの電源供給に対応した、丈夫で耐久性のある電源ケーブル

接続固定リング

集水槽キャリア接続ボルト

。ロック装置により、集水槽用キャリアと簡単かつ安全に接続できます



ショルダーベルト取付部

上部と下部に分離され、丈夫なストラップで構成。持ち運びが簡単で安全です

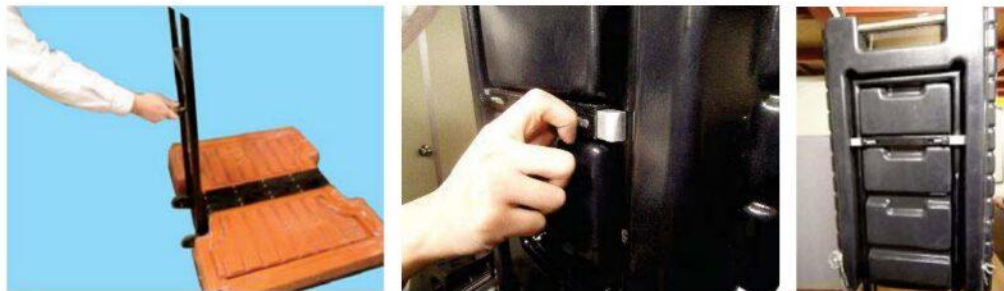


移動用ショルダーベルト

2 設置

ア) 作業環境および設置

- ① あらかじめ設置した集水槽キャリアの高さ調整バルブを調整し、温水シャワーを設置しやすい高さに合わせます。
- ② 温水シャワー背面の固定用留め具をキャリアに掛け、確実に密着させます。
- ③ 設置例（背面）



④ 集水槽・温水シャワー・排水ろ過装置の設置例



- ⑤ ホースを温水シャワー左下の給水口に接続し、水を供給します。
- ⑥ 漏電遮断器付きコンセントに温水シャワーの電源プラグを接続します。
- ⑦ 操作パネルの温度調節つまみで電源を入れ、使用する湯温に調整します。

3 肩掛けおよび移動

温水シャワーを分解した後、写真のように肩掛けベルトを使用すると、バッグのように背負って移動できます。



温水シャワー 製品仕様・装置仕様

モデル名	Model	ASES-1101
製造日	Date	
製造番号	Serial	ASES-CBZ-AA0010-
定格	Rating	100V / 60Hz / 6kW
外形寸法	Size	460 x 270 x 790
重量	Weight	14 kg